

平成30年7月27日

J A 御中
(営農担当部署)

福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会
(事務局：J A全農ふくれん 担い手支援課)
(公 印 省 略)

[緊急]

営農情報 8

台風12号接近に伴う技術対策について

気象庁によると、台風12号が北上し、7月29日から30日にかけて九州北部に接近する恐れがありますので、下記の事項を参考に、技術対策の実施をお願いします。

留意事項

ほ場・農業用施設の見回りは、気象情報を十分に確認し、大雨や強風がおさまるまでは行わないで下さい。また、大雨等が収まった後の見回りにおいても、増水した水路など危険な場所には近づかず、人命を最優先に事故防止の徹底に努めてください。

1 水 稲

【台風接近前】

- 台風通過時に深水管理を実施する。(強風による葉の裂傷、茎葉の振動の防止。)
特に、普通期早植え水稲は出穂期前後のため、必ず深水管理にして穂を保護する。

【台風通過後】

- 浅水管理とし、生育の回復を図る。
- 冠水した場合には、早急に排水をはかり冠水時間を短くする(十分な排水ができない状況でも、葉の先端が水面から出るよう最大限の努力をする。)
- 排水後は、できるだけ新しい酸素を含んだ用水との入れ替えを実施する。

2 大 豆

【台風接近前】

- 畝溝や排水溝の整備を行う。

【台風通過後】

- 畝溝や排水溝等の点検・再整備を行い、速やかに排水を図る。
- これまでの土壌の過乾燥、及び冠水により、出芽不良の場合は、再播種する。
播種量は標準より可能な限り増やす。

以上